作成年度 令和6年度
林業·木材産業循環成長対策交付金 達成状況報告
山梨県

1. 事業構想評価

(1)事業構想「目標を定量化する指標」の達成状況

日標 メニュー					達成状況																
		メニュー	指標	開始 年度	目標 年度	1年目(開始年度)		2年目		3年目			4年目			5年目			備考		
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
安定供給 体制の整	安定供給		間伐材生産経費(円/㎡) の減少率																		
備推進	備推進高性能林業機械等の整備		労働生産性(m³/人・日) の増加率	R1		11%	-2%	-16%	12%	3%	21%	13%	28%	214%	<u>14%</u>	33%	236%	I	-	-	
木材加工流通施設等の整備		地域材利用量(m³)の増加 率																	_		
木造公共建築物等の 木材利用 及び本体制 等の整備 推進 木質バイオマス利用促 進施設の整備		木造化(補助率1/2以内)	事業費当たりの木材利用 量 (㎡/百万円)	R1		2	3.8	191%	2	3.8	191%	2	3.8	191%	<u>2</u>	3.0	150%	_	-		
		木造化(補助率15%以内)			R4																
	木質化																				
		未利用間伐材等活用機材整備	事業費当たりの木質バイ オマス利用量(㎡/百万 円)																		
	木質バイオマス利用促 進施設の整備			H30		20	636	3181%	20	441	2203%	20	461	2305%	20	383	1915%	<u>20</u>	312	1560%	
		木質バイオマスエネルギー利用 施設整備																			

(注)

- 1 「達成状況」には、各年の目標値、実績値及び達成率(各年度の実績値/各年度の目標値)を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の1に基づくこと。
- 3 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。
- 4 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「一」を記入すること。
- 5 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断されるメニューについては、本報告における評価対象外とする。 なお、該当するメニューについては、本報告に準じ別途達成状況表を作成することとし、その理由を記載すること。

2 全体評価

(1)全体指標の達成状況

1/主体指標の 達成仏池								C7								
目標	メニュー	全体指標		現状値			目標値		目標:	年度の報告	備考					
口 1示	7-1	主 体泪标	数值	単位	年度	数值	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度					
木材利用及び木材産業体 制等の整備推進	木質バイオマス利用 促進施設の整備	地域材利用量(増加率)	199	千㎡	H30	389 (96%)	千㎡	R5 (2023)	212 (7%)	54% (7%)	R5	R6.8.30木材生産量調査(県)、R5 木材統計調査(国)				
		木質バイオマス利用量(増加量)	50	∓m³	H30	108 (58)	千㎡	R5 (2023)	96 (46)	89% (79%)	R5	R6.3.31バイオマス利用調査(県)				
森林資源の保護	森林環境保全の推進	人為的な森林被害に対する 指導・取締件数の割合	0.03	件/日	R4 (2022)	0.02	件/日	R5 (2023)	0.024	83%		R6.4.10森林保全管理推 進事業実績報告				
マーケノインケカのの作業	」 サの変织 - 充成 - ウ	素材生産量	217	∓m³	R4 (2022)	231	∓m³	R5 (2023)	212	92%		R6.3.31 木材生産量調査				
		認定事業主数	46	社	R4 (2022)	46	社	R5 (2023)	41	89%		R6.3.31 認定事業主数集計				
		新規就業者数	40	人	R4 (2022)	50	人	R5 (2023)	43	86%		R6.3.31 新規就業者の状況調査				
		労働災害発生件数	13	件	R4 (2022)	12	件	R5 (2023)	14	86%		R5.1~12 令和5年労働災害統計				

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績/目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

R5

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策						
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	建築需要の減少及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴うウッドショックによる	ウッドショックの影響からは脱しつつありながらも、引き続き住宅建築需要は減少していることから、公共建築物等非住宅建築物の木造化を推進することで地域材の利用量増加を目指す。						
	高寺の人高的な綵体被告防止の点で効果を発揮しているか、年度速 中で巡視員の充供があったことから 活動に不慣れたこともおり効率的	今後目標達成のために、活動に不慣れな巡視員に積極的なフォローを 行っていく。また、過去、人為的な森林被害があったエリアを絞り込み、効 率的なパトロールを実施することで被害を未然に防止する。						
	うとする経営体が少なく、目標値を下回った。 新規就業者は目標を下回ったが、前年度よりも増加した。	経営体の強化が課題となっているため、引き続き、林業経営体に対し改善計画書の策定を継続的に指導し、事業の合理化を促していく。 また、引き続き就業者の確保に向け、労働安全の確保や生産性の向上を促す取り組みを行っていく。						

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。